

1. 学校名 対象 (学年、人数)

山梨県北杜市立白州中学校 (第3学年、11名)

2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ

「提言しよう私の意見 ～自らの手で世界を切り拓くために～」

本校は、国内有数の標高を誇る甲斐駒ヶ岳の東に位置し、豊かな自然、古くからの歴史と伝統、文化が息づく落ち着いた環境にある。現在は、日本の名水百選にも選ばれる水資源を中心に有名企業が工場を展開したり、夏場は涼を求めて多くの観光客が訪れる地域になっている。昨今は少子高齢化の影響もあり中学生の人数も減ってきている。そのような中でSDGsを視点に地域活性化への思いを中学生なりに提言としてまとめていくことをねらいとしている。これまでの地域学習とは異なる視点から地域について考え、新たな地域の魅力に気づくなかで中学生としての地域貢献を考えていきたい。

(2) 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域活性化への方法や持続可能な社会について学ぶ学習を通して、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てたり、情報を構造化する、抽象化したりすることで、対象や目的に応じた表現の技能を学び、問題の解決に向けた探究活動に取り組む資質・能力を育成する。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること) | <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている) | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input checked="" type="checkbox"/> 責任制 (責任を持って) |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDGs



- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任、つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に

(5) 探究課題・活動実践の概要

5つのグループに分かれて探究活動に取り組んだ。日常の生活で感じる疑問やSDGsの視点から興味のある分野を調べることから始め、グループ毎に課題を設定した。

- ・白州の水と災害に強いインフラ～持続可能にしていくために～
- ・マイクロプラスチックと私たちの関わりについて
- ・平和と公正をすべての人に
- ・ジェンダーレス制服について
- ・性の不平等について

3. 流れ（指導計画の概略）

- ① SDGs について学ぶ(ユニセフ・外務省の動画)【1】
- ② SDGs の取り組みの現状について情報を収集する。【2】
- ③ 地域課題について考え、グループの課題を設定・仮説を設定する。【1】
- ④ 課題の解決に向けた研究計画を立てる。【1】
- ⑤ 課題について調べる（アンケート調査の実施、課題の再設定、調査計画の見直し
アンケート内容の考察、各グループの意見を提言としてまとめる【10】
- ⑥ グループでまとめた内容をクラスで中間発表をする【2】
- ⑦ 中間発表での意見交換等をふまえ、提言内容を修正する。【7】
- ⑧ 信州 ESD/SDGs 成果発表&交流会への参加【3】
- ⑨ 提言した内容を成果と課題としてまとめていく。【2】

4. 効果・反応・所感

全校生徒 50 人の小規模校で生活をしているため、たくさんの同世代また、県外の生徒と交流ができたことが大きな成果となった。交流会において、「来年度の生徒会活動で取り入れたりしたら面白そう」などという言葉も聞こえてきたため、SDGs、ESD 教育を今後普及していくために効果的な実践の場になったと感じる。

～生徒感想より～

- ・地域に根付いた SDGs の取り組みをしていて、その地域によって着眼点の違いが面白かった。企業団体や地域の人と連携を取り活動することは白州中学校ではあまりやっていないため、白州中学校の活動に取り入れても良いと思った。
- ・各小中学校での取り組み、その学校、その地域の課題解決に向けて努力していることが伝わってきた。古着でワクチンなど、回収に関わる経済的負担などについても、もう少し質問ができると良かった。

5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

今年度は実施をしなかったが、昨年度には全校生徒を対象に SDGs に関する学習会を実施した。（本学年の生徒も参加している。）SDGs は、昨今話題になり、学校現場においても当たり前のように使われるようになってきている。学習会を計画することで、自分事として捉える機会を計画したことも今年度の実践にいきているのではないかと思う。